

平成 27 年度秦野市 Web アンケート調査  
(第 2 回目)  
報告書

平成 27 年 9 月

秦野市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計及び回収結果 .....	3
3 アンケートの調査項目 .....	3
4 調査結果をみる上での注意事項 .....	3
<b>II 調査結果（第2回目）</b> .....	<b>5</b>
1 属性 .....	6
(1) 性別 .....	6
(2) 年齢 .....	6
(3) 居住地区 .....	6
2 地域福祉について .....	7
(1) 相談や支援について .....	7
(2) 必要とされる支援について .....	9
(3) 福祉サービスに関する情報の入手源 .....	11
3 住宅用火災警報器・消火器具等の設置について .....	13
(1) 住宅用火災警報器等の設置状況 .....	13
(2) 住宅用火災警報器（または自動火災警報設備）を設置していない理由 .....	14
(3) 住宅用消火器具等の設置状況 .....	15
(4) 設置されている消火器等の種類 .....	16
4 夜行高速バスについて .....	17
(1) 夜行高速バスの利用状況 .....	17
(2) 東名秦野バスストップまでの交通手段 .....	18
(3) 高速バスの利便性向上・利用促進のための施策 .....	19



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

---

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

## 2 調査の設計及び回収結果

---

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約 2800人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（楽天リサーチ株式会社）
⑦ 調査期間	平成 27 年 8 月 28 日～9 月 3 日
⑧ 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 3 アンケートの調査項目

---

秦野市民の地域福祉、火災警報器・消火器具等の設置状況、および、秦野⇄名古屋・大阪・鳥取方面行きの夜行高速バスについて調査項目を設定した。

## 4 調査結果をみる上での注意事項

---

- ① 回答はn（有効回収数）を基準とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。  
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。

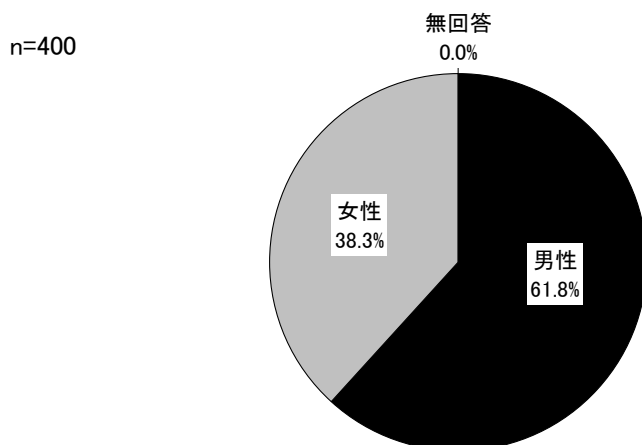




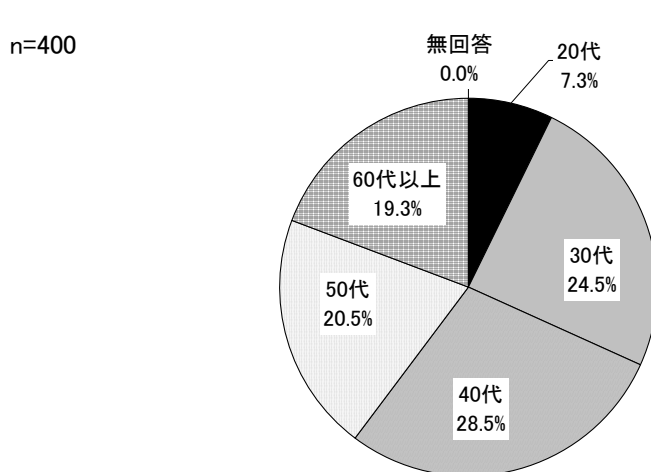
## Ⅱ 調査結果（第2回目）

# 1 属性

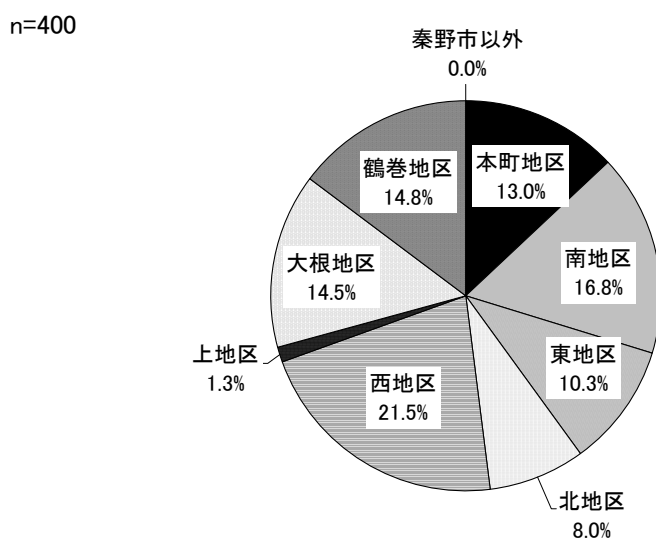
## (1) 性別



## (2) 年齢



## (3) 居住地区



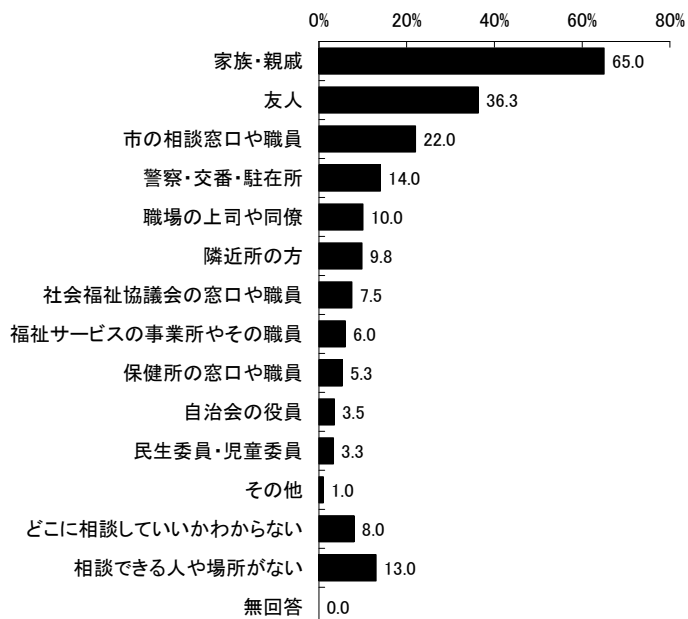
## 2 地域福祉について

### (1) 相談や支援について

生活上の悩みや不安、自力では解決できない問題が起きた場合に、相談したり支援を頼みたい方についてたずねたところ、「家族・親戚」が65.0%と最も高く、次いで「友人」(36.3%)、「市の相談窓口や職員」(22.0%)の順となっている。

□ Q1 生活上の悩みや不安、自力では解決できない問題が起きた場合に、相談したり支援を頼みたい方はどなたですか。[MA]

n=400



性別では、「家族・親戚」で女性（78.4%）が男性（56.7%）より高く、また「友人」も女性（46.4%）が男性（30.0%）より高くなっている。

年代別でみると、「家族・親戚」については20代が79.3%と高く、若年層ほど高くなる傾向にある。

「市の相談窓口や職員」「警察・交番・駐在所」「社会福祉協議会の窓口や職員」については40代以上が他の年代より高く、「民生委員・児童委員」で50代以上が、「福祉サービスの事業所やその職員」で60代以上が他の年代より高くなっている。

「どこに相談していいかわからない」は50代以上が高く、「相談できる人や場所がない」では30代、40代、50代が他の年代より高くなっている。

		生活上の悩み等で自力で解決できない場合に、相談したり支援を頼みたい相手(MA)								
		全体 (実数)	家族・親戚	友人	市の相談窓 口や職員	警察・交番・ 駐在所	職場の上 司や同僚	隣近所の方	社会福祉協 議会の窓 口や職員	福祉サー ビスの事業 所やその職員
(%)										
全体		400	65.0	36.3	22.0	14.0	10.0	9.8	7.5	6.0
性別	男性	247	56.7	30.0	23.1	15.0	8.1	10.9	6.9	6.5
	女性	153	78.4	46.4	20.3	12.4	13.1	7.8	8.5	5.2
年代	20代	29	79.3	51.7	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	3.4
	30代	98	73.5	33.7	18.4	6.1	15.3	9.2	5.1	4.1
	40代	114	64.9	34.2	25.4	16.7	9.6	4.4	9.6	4.4
	50代	82	54.9	35.4	24.4	20.7	9.8	14.6	8.5	6.1
	60代以上	77	59.7	37.7	27.3	18.2	3.9	16.9	9.1	11.7
性別 × 年代	男性計	247	56.7	30.0	23.1	15.0	8.1	10.9	6.9	6.5
	20代	9	66.7	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	30代	55	63.6	29.1	20.0	7.3	9.1	10.9	3.6	0.0
	40代	63	54.0	22.2	25.4	15.9	9.5	1.6	6.3	4.8
	50代	55	47.3	25.5	18.2	20.0	12.7	16.4	7.3	7.3
	60代以上	65	60.0	36.9	30.8	18.5	1.5	16.9	10.8	13.8
	女性計	153	78.4	46.4	20.3	12.4	13.1	7.8	8.5	5.2
	20代	20	85.0	45.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0
	30代	43	86.0	39.5	16.3	4.7	23.3	7.0	7.0	9.3
	40代	51	78.4	49.0	25.5	17.6	9.8	7.8	13.7	3.9
50代	27	70.4	55.6	37.0	22.2	3.7	11.1	11.1	3.7	
60代以上	12	58.3	41.7	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	

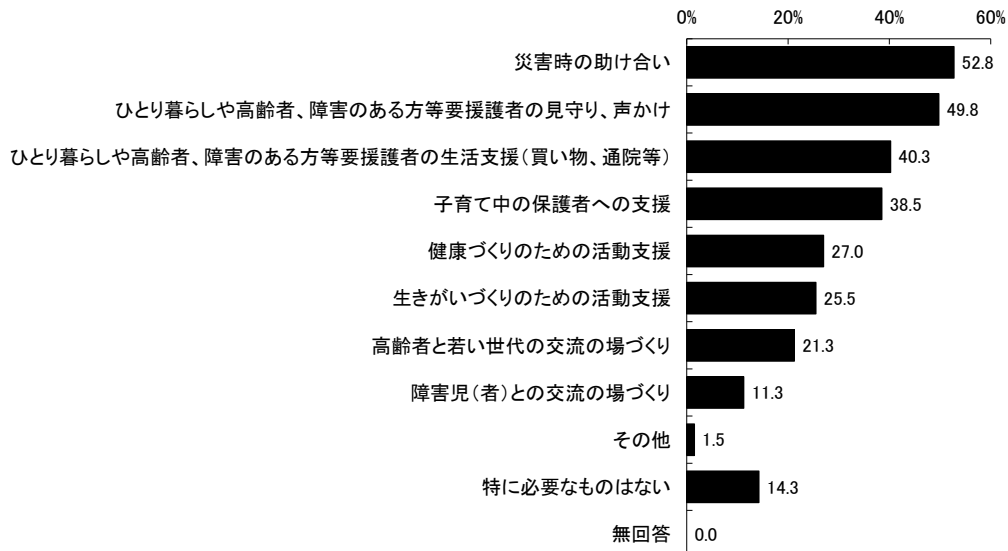
		生活上の悩み等で自力で解決できない場合に、相談したり支援を頼みたい相手(MA)							
		全体 (実数)	保健所の窓 口や職員	自治会の役 員	民生委員・ 児童委員	その他	どこに相談 していいか わからない	相談できる 人や場所が ない	無回答
(%)									
全体		400	5.3	3.5	3.3	1.0	8.0	13.0	0.0
性別	男性	247	5.3	5.3	3.6	0.4	9.7	17.4	0.0
	女性	153	5.2	0.7	2.6	2.0	5.2	5.9	0.0
年代	20代	29	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0
	30代	98	6.1	1.0	2.0	2.0	4.1	14.3	0.0
	40代	114	4.4	3.5	1.8	0.0	6.1	14.9	0.0
	50代	82	6.1	8.5	6.1	1.2	15.9	17.1	0.0
	60代以上	77	6.5	2.6	5.2	1.3	9.1	6.5	0.0
性別 × 年代	男性計	247	5.3	5.3	3.6	0.4	9.7	17.4	0.0
	20代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	30代	55	3.6	1.8	1.8	1.8	5.5	21.8	0.0
	40代	63	4.8	6.3	3.2	0.0	7.9	19.0	0.0
	50代	55	5.5	10.9	3.6	0.0	16.4	23.6	0.0
	60代以上	65	7.7	3.1	6.2	0.0	10.8	7.7	0.0
	女性計	153	5.2	0.7	2.6	2.0	5.2	5.9	0.0
	20代	20	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	30代	43	9.3	0.0	2.3	2.3	2.3	4.7	0.0
	40代	51	3.9	0.0	0.0	0.0	3.9	9.8	0.0
50代	27	7.4	3.7	11.1	3.7	14.8	3.7	0.0	
60代以上	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	

## (2) 必要とされる支援

地域の中で、必要と思われる支援については、「災害時の助け合い」が52.8%と最も高く、次いで「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の見守り、声かけ」(49.8%)、「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の生活支援(買い物、通院等)」(40.3%)の順となっている。

□ Q2. 地域の中で、必要と思われる支援は何ですか。[MA]

n=400



性別でみると、「災害時の助け合い」で女性（58.8%）が男性（49.0%）より高い。

「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の見守り、声かけ」（女性 53.6%、男性 47.4%）や「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の生活支援（買い物、通院等）」（女性 44.4%、男性 37.7%）、「子育て中の保護者への支援」（女性 45.1%、男性 34.4%）、「健康づくりのための活動支援」（女性 32.0%、男性 23.9%）、「障害児（者）との交流の場づくり」（女性 15.0%、男性 8.9%）についても女性の割合が男性より高くなっている。

年代別でみると、「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の見守り、声かけ」「ひとり暮らしや高齢者、障害のある方等要援護者の生活支援（買い物、通院等）」で50代以上、「健康づくりのための活動支援」で60代以上が他の年代より高くなっている。

また、「子育て中の保護者への支援」で20代、30代が他の年代より高くなっている。

		地域の中で必要と思われる支援(MA)											
		全体 (実数)	災害時 の助け 合い	ひとり暮 らしや高 齢者、障 害のある 方等要 援護者 の見守 り、声か け	ひとり暮 らしや高 齢者、障 害のある 方等要 援護者 の生活 支援(買 い物、通 院等)	子育て 中の保 護者へ の支援	健康づく りのため の活動 支援	生きがい づくりの ための活 動支援	高齢者と 若い世 代の交 流の場づ くり	障害児 (者)との 交流の 場づくり	その他	特に必 要なもの はない	無回答
		(%)											
全体		400	52.8	49.8	40.3	38.5	27.0	25.5	21.3	11.3	1.5	14.3	0.0
性別	男性	247	49.0	47.4	37.7	34.4	23.9	25.9	21.9	8.9	1.6	15.0	0.0
	女性	153	58.8	53.6	44.4	45.1	32.0	24.8	20.3	15.0	1.3	13.1	0.0
年代	20代	29	34.5	34.5	31.0	55.2	17.2	10.3	10.3	10.3	3.4	20.7	0.0
	30代	98	61.2	45.9	38.8	57.1	28.6	27.6	23.5	12.2	0.0	7.1	0.0
	40代	114	44.7	44.7	35.1	32.5	21.1	19.3	17.5	7.9	2.6	17.5	0.0
	50代	82	57.3	53.7	47.6	28.0	24.4	28.0	23.2	13.4	1.2	15.9	0.0
	60代以上	77	55.8	63.6	45.5	28.6	40.3	35.1	26.0	13.0	1.3	14.3	0.0
	男性計	247	49.0	47.4	37.7	34.4	23.9	25.9	21.9	8.9	1.6	15.0	0.0
性別 × 年代	20代	9	22.2	33.3	33.3	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	44.4	0.0
	30代	55	56.4	36.4	36.4	45.5	21.8	20.0	21.8	3.6	0.0	7.3	0.0
	40代	63	36.5	39.7	25.4	31.7	11.1	19.0	14.3	6.3	3.2	17.5	0.0
	50代	55	49.1	45.5	40.0	29.1	21.8	25.5	23.6	10.9	1.8	21.8	0.0
	60代以上	65	58.5	67.7	49.2	30.8	40.0	40.0	29.2	13.8	1.5	9.2	0.0
	女性計	153	58.8	53.6	44.4	45.1	32.0	24.8	20.3	15.0	1.3	13.1	0.0
	20代	20	40.0	35.0	30.0	60.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0
	30代	43	67.4	58.1	41.9	72.1	37.2	37.2	25.6	23.3	0.0	7.0	0.0
	40代	51	54.9	51.0	47.1	33.3	33.3	19.6	21.6	9.8	2.0	17.6	0.0
	50代	27	74.1	70.4	63.0	25.9	29.6	33.3	22.2	18.5	0.0	3.7	0.0
60代以上	12	41.7	41.7	25.0	16.7	41.7	8.3	8.3	8.3	0.0	41.7	0.0	

### (3) 福祉サービスに関する情報の入手源

福祉サービスに関する情報の入手源について、「市の広報」と回答した割合が 40.8%と最も高く、次いで「市のホームページ」(32.5%)、「自治会の役員、回覧板」(24.3%) の順となっている。

□ Q3. 身の回りには、様々な福祉サービスが提供されていると思いますが、福祉サービスの情報をどこから入手していますか。[MA]

n=400



性別では、「市の広報」と回答した割合が、女性（45.8%）は男性（37.7%）より高い。同様に「市のホームページ」（女性 36.6%、男性 30.0%）、「家族・親戚」（女性 22.9%、男性 13.0%）、「友人」（女性 12.4%、男性 5.7%）でも女性の割合が男性より高い。

一方、「自治会の役員、回覧板」で男性（27.1%）が女性（19.6%）より高く、「特にない」についても男性（29.6%）が女性（19.0%）より高い。

年代別でみると、「家族・親戚」については、20代、30代が他の年代より高く、また、若年層ほど高い傾向にある。

「市の広報」、「自治会の役員、回覧板」、「社会福祉協議会のホームページ」については、高齢層ほど高くなる傾向にある。

		身の回りで提供されている福祉サービスの情報源(MA)									
		全体 (実数)	市の広報	市のホームページ	自治会の役員、回覧板	家族・親戚	市等のホームページ以外のインターネットの情報サイト	友人	社会福祉協議会の広報	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	隣近所の方
(%)											
性別	全体	400	40.8	32.5	24.3	16.8	8.8	8.3	8.3	8.3	7.0
	男性	247	37.7	30.0	27.1	13.0	10.1	5.7	9.3	6.9	7.7
	女性	153	45.8	36.6	19.6	22.9	6.5	12.4	6.5	10.5	5.9
年代	20代	29	17.2	31.0	3.4	27.6	6.9	13.8	0.0	3.4	6.9
	30代	98	37.8	34.7	19.4	27.6	9.2	3.1	7.1	8.2	6.1
	40代	114	36.8	32.5	19.3	14.9	12.3	7.9	5.3	7.9	4.4
	50代	82	43.9	30.5	25.6	9.8	3.7	11.0	7.3	4.9	6.1
	60代以上	77	55.8	32.5	44.2	9.1	9.1	10.4	18.2	14.3	13.0
	男性計	247	37.7	30.0	27.1	13.0	10.1	5.7	9.3	6.9	7.7
性別×年代	20代	9	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
	30代	55	34.5	34.5	23.6	23.6	7.3	0.0	7.3	3.6	5.5
	40代	63	30.2	30.2	15.9	12.7	15.9	6.3	4.8	6.3	4.8
	50代	55	32.7	25.5	25.5	7.3	5.5	7.3	9.1	3.6	5.5
	60代以上	65	55.4	30.8	46.2	9.2	9.2	7.7	16.9	13.8	15.4
	女性計	153	45.8	36.6	19.6	22.9	6.5	12.4	6.5	10.5	5.9
	20代	20	20.0	35.0	5.0	35.0	0.0	15.0	0.0	5.0	10.0
	30代	43	41.9	34.9	14.0	32.6	11.6	7.0	7.0	14.0	7.0
	40代	51	45.1	35.3	23.5	17.6	7.8	9.8	5.9	9.8	3.9
	50代	27	66.7	40.7	25.9	14.8	0.0	18.5	3.7	7.4	7.4
	60代以上	12	58.3	41.7	33.3	8.3	8.3	25.0	25.0	16.7	0.0

		身の回りで提供されている福祉サービスの情報源(MA)								
		全体 (実数)	職場	社会福祉協議会のホームページ	福祉サービスの事業所やその職員	民生委員・児童委員	保健所	その他	特にない	無回答
(%)										
性別	全体	400	6.8	5.3	5.0	4.0	0.8	0.5	25.5	0.0
	男性	247	5.3	6.9	6.5	5.3	1.2	0.4	29.6	0.0
	女性	153	9.2	2.6	2.6	2.0	0.0	0.7	19.0	0.0
年代	20代	29	10.3	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	37.9	0.0
	30代	98	9.2	3.1	2.0	1.0	2.0	0.0	22.4	0.0
	40代	114	4.4	6.1	2.6	5.3	0.9	0.9	31.6	0.0
	50代	82	11.0	4.9	7.3	2.4	0.0	1.2	29.3	0.0
	60代以上	77	1.3	7.8	11.7	6.5	0.0	0.0	11.7	0.0
	男性計	247	5.3	6.9	6.5	5.3	1.2	0.4	29.6	0.0
性別×年代	20代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
	30代	55	9.1	5.5	0.0	1.8	3.6	0.0	29.1	0.0
	40代	63	4.8	7.9	3.2	7.9	1.6	0.0	36.5	0.0
	50代	55	9.1	7.3	10.9	3.6	0.0	1.8	38.2	0.0
	60代以上	65	0.0	7.7	12.3	7.7	0.0	0.0	12.3	0.0
	女性計	153	9.2	2.6	2.6	2.0	0.0	0.7	19.0	0.0
	20代	20	15.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	30代	43	9.3	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0
	40代	51	3.9	3.9	2.0	2.0	0.0	2.0	25.5	0.0
	50代	27	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	60代以上	12	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0



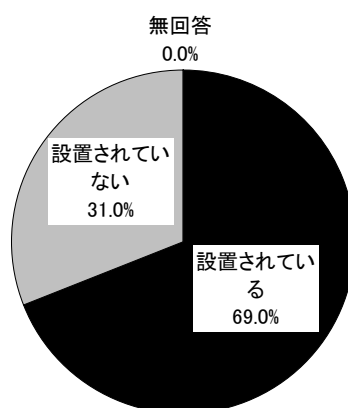
### 3 住宅用火災警報器・消火器具等の設置について

#### (1) 住宅用火災警報器等の設置状況

住宅用火災警報器（または自動火災報知設備）が設置されているかについては、69.0%が「設置されている」と回答している。

□ Q4. 全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられて、4年が経過しましたが、あなたの家には、住宅用火災警報器（または自動火災報知設備）が設置されていますか。[SA]

n=400



性別では、大きな差はみられない。

年代別でみると、若年層ほど「設置されている」割合が高くなる傾向にある。

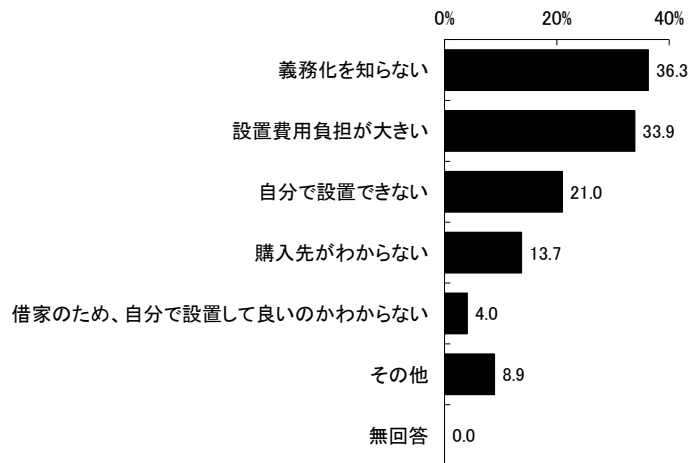
		住宅用火災警報器（または自動火災報知設備）の設置状況			
		全体 (実数)	設置されて いる	設置されて いない	無回答
		(%)			
全体		400	69.0	31.0	0.0
性別	男性	247	69.2	30.8	0.0
	女性	153	68.6	31.4	0.0
年代	20代	29	79.3	20.7	0.0
	30代	98	70.4	29.6	0.0
	40代	114	69.3	30.7	0.0
	50代	82	65.9	34.1	0.0
	60代以上	77	66.2	33.8	0.0
性別 × 年代	男性計	247	69.2	30.8	0.0
	20代	9	88.9	11.1	0.0
	30代	55	70.9	29.1	0.0
	40代	63	68.3	31.7	0.0
	50代	55	69.1	30.9	0.0
	60代以上	65	66.2	33.8	0.0
	女性計	153	68.6	31.4	0.0
	20代	20	75.0	25.0	0.0
	30代	43	69.8	30.2	0.0
	40代	51	70.6	29.4	0.0
50代	27	59.3	40.7	0.0	
60代以上	12	66.7	33.3	0.0	

## (2) 住宅用火災警報器(または自動火災警報設備)を設置していない理由

住宅用火災警報器(または自動火災警報設備)を設置していない理由では、「義務化を知らない」と回答した割合が36.3%と最も高く、次いで「設置費用負担が大きい」(33.9%)、「自分で設置できない」(21.0%)となっている。

□ Q5. 住宅用火災警報器(または自動火災警報設備)を設置していない理由は何ですか。[MA]

n=124



性別では、「設置費用負担が大きい」で女性(37.5%)が男性(31.6%)より高くなっている。また、「自分で設置できない」(女性25.0%、が男性18.4%)や「購入先がわからない」(女性18.8%、男性10.5%)についても女性の割合が男性より高くなっている。

一方、「その他」では男性(13.2%)が女性(2.1%)より高くなっている。「その他」の内容としては、「先延ばしになっている」、「つける必要を感じない」などと回答されている。

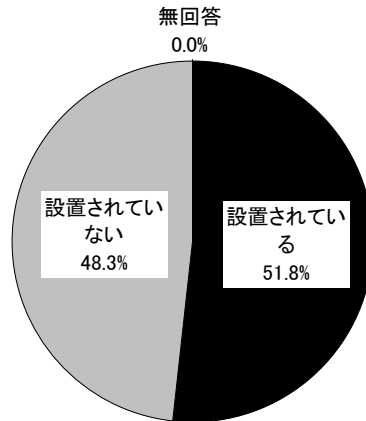
		住宅用火災警報器(または自動火災警報設備)を設置していない理由(MA)							
		全体 (実数)	義務化を知らない	設置費用負担が大きい	自分で設置できない	購入先がわからない	借家(アパートなど)のため、自分で設置して良いかわからない	その他	無回答
全体		124	36.3	33.9	21.0	13.7	4.0	8.9	0.0
性別	男性	76	36.8	31.6	18.4	10.5	2.6	13.2	0.0
	女性	48	35.4	37.5	25.0	18.8	6.3	2.1	0.0
年代	20代	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	30代	29	44.8	20.7	27.6	10.3	10.3	6.9	0.0
	40代	35	28.6	37.1	11.4	17.1	2.9	5.7	0.0
	50代	28	32.1	42.9	17.9	21.4	0.0	10.7	0.0
	60代以上	26	38.5	38.5	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0
性別×年代	男性計	76	36.8	31.6	18.4	10.5	2.6	13.2	0.0
	20代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	16	56.3	25.0	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0
	40代	20	35.0	30.0	5.0	15.0	5.0	10.0	0.0
	50代	17	17.6	35.3	17.6	17.6	0.0	17.6	0.0
	60代以上	22	36.4	36.4	36.4	9.1	0.0	18.2	0.0
	女性計	48	35.4	37.5	25.0	18.8	6.3	2.1	0.0
	20代	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	30代	13	30.8	15.4	46.2	23.1	15.4	7.7	0.0
	40代	15	20.0	46.7	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
50代	11	54.5	54.5	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	
60代以上	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

### (3) 住宅用消火器具等の設置状況

住宅に消火器等が設置されているかについては、「設置されている」と回答した割合が51.8%と、半数が設置されている状況であった。

□ Q6. あなたの家には、消火器等が設置されていますか。[SA]

n=400



性別では、「設置されている」と回答している割合は、男性（55.5%）が女性（45.8%）より高くなっている。

年代別では、「設置されている」で60代以上の割合が62.3%と他の年代より高くなっている。

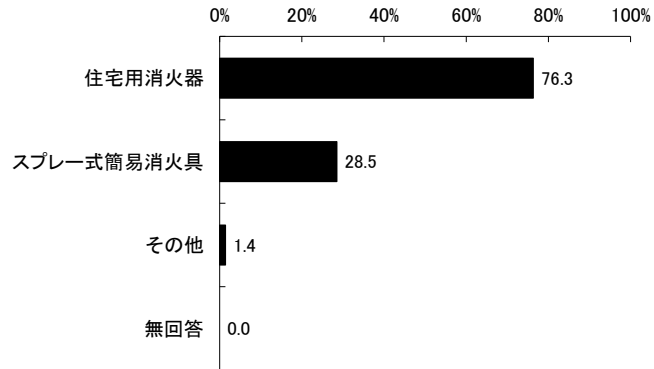
		消火器等の設置状況			
		全体 (実数)	設置されて いる	設置されて いない	無回答
		(%)			
全体		400	51.8	48.3	0.0
性別	男性	247	55.5	44.5	0.0
	女性	153	45.8	54.2	0.0
年代	20代	29	55.2	44.8	0.0
	30代	98	43.9	56.1	0.0
	40代	114	47.4	52.6	0.0
	50代	82	56.1	43.9	0.0
	60代以上	77	62.3	37.7	0.0
	男性計	247	55.5	44.5	0.0
性別 × 年代	20代	9	77.8	22.2	0.0
	30代	55	47.3	52.7	0.0
	40代	63	47.6	52.4	0.0
	50代	55	60.0	40.0	0.0
	60代以上	65	63.1	36.9	0.0
	女性計	153	45.8	54.2	0.0
	20代	20	45.0	55.0	0.0
	30代	43	39.5	60.5	0.0
	40代	51	47.1	52.9	0.0
	50代	27	48.1	51.9	0.0
60代以上	12	58.3	41.7	0.0	

#### (4) 設置されている消火器等の種類

住宅に設置されている消火器等の種類については、「住宅用消火器」の割合が76.3%と最も高く、次いで「スプレー式簡易消火器」が28.5%となっている。

□ Q7. 設置されている消火器等の種類は何ですか。[MA]

n=207



性別・年代別では、大きな差は見られない。

		設置されている消火器等の種類 (MA)				
		全体 (実数)	住宅用消火器	スプレー式 簡易消火具	その他	無回答
(%)						
全体		207	76.3	28.5	1.4	0.0
性別	男性	137	78.1	28.5	1.5	0.0
	女性	70	72.9	28.6	1.4	0.0
年代	20代	16	75.0	25.0	0.0	0.0
	30代	43	79.1	20.9	4.7	0.0
	40代	54	72.2	29.6	0.0	0.0
	50代	46	80.4	28.3	2.2	0.0
	60代以上	48	75.0	35.4	0.0	0.0
	男性計	137	78.1	28.5	1.5	0.0
性別 × 年代	20代	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	30代	26	73.1	23.1	7.7	0.0
	40代	30	73.3	30.0	0.0	0.0
	50代	33	87.9	24.2	0.0	0.0
	60代以上	41	75.6	36.6	0.0	0.0
	女性計	70	72.9	28.6	1.4	0.0
	20代	9	66.7	33.3	0.0	0.0
	30代	17	88.2	17.6	0.0	0.0
40代	24	70.8	29.2	0.0	0.0	
50代	13	61.5	38.5	7.7	0.0	
60代以上	7	71.4	28.6	0.0	0.0	

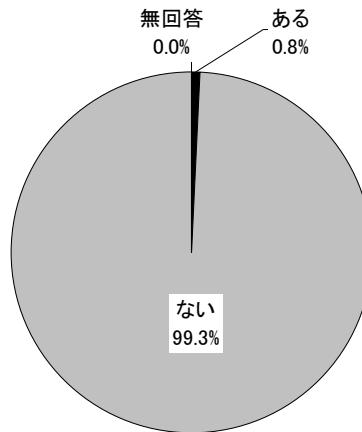
## 4 夜行高速バスについて

### (1) 夜行高速バスの利用状況

4月3日から運行している東名秦野バスストップ⇄名古屋・大阪・鳥取方面行きの夜行高速バスの利用状況をたずねたところ、利用したことが「ない」と回答した割合が99.3%となっている。

- Q8. 4月3日から高速バスの東名秦野バスストップから、名古屋・大阪・鳥取方面行きの夜行高速バスが運行していますが、利用したことがありますか。[SA]

n=400



性別・年代別では、大きな差は見られない。

		東名秦野バスストップ⇄名古屋・大阪・鳥取方面行き の夜行高速バスを利用したか			
		全体 (実数)	ある	ない	無回答
全体		400	0.8	99.3	0.0
性別	男性	247	0.8	99.2	0.0
	女性	153	0.7	99.3	0.0
年代	20代	29	3.4	96.6	0.0
	30代	98	1.0	99.0	0.0
	40代	114	0.0	100.0	0.0
	50代	82	1.2	98.8	0.0
	60代以上	77	0.0	100.0	0.0
性別 × 年代	男性計	247	0.8	99.2	0.0
	20代	9	0.0	100.0	0.0
	30代	55	1.8	98.2	0.0
	40代	63	0.0	100.0	0.0
	50代	55	1.8	98.2	0.0
	60代以上	65	0.0	100.0	0.0
	女性計	153	0.7	99.3	0.0
	20代	20	5.0	95.0	0.0
	30代	43	0.0	100.0	0.0
	40代	51	0.0	100.0	0.0
50代	27	0.0	100.0	0.0	
60代以上	12	0.0	100.0	0.0	

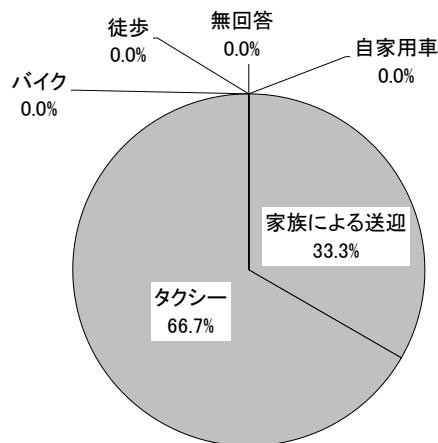
## (2) 東名秦野バスストップまでの交通手段

(※サンプル数が少ないため、参考値とする)

運行している東名秦野バスストップ⇄名古屋・大阪・鳥取方面行きの夜行高速バスを利用した方(3件)に、東名秦野バスストップまでの交通手段をたずねると、「タクシー」が66.7%(2件)、「家族による送迎」が33.3%(1件)であった。

□ Q9. 東名秦野バスストップまでの主な交通手段は、次のうちどれですか。[SA]

n=3



性別・年代別では、大きな差は見られない。

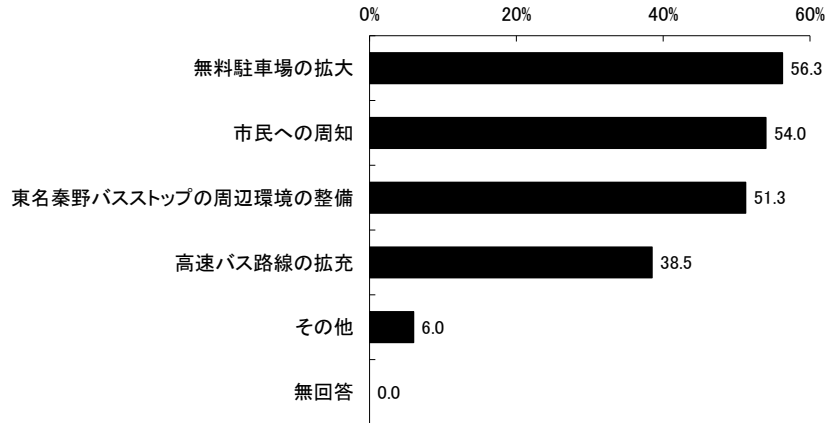
		東名秦野バスストップまでの主な交通手段						
		全体 (実数)	自家用車	家族による 送迎	タクシー	バイク	徒歩	無回答
		(%)						
全体		3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
性別	男性	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年代	20代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性計	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
性別 × 年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性計	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

### (3) 高速バスの利便性向上・利用促進のための施策

今後、高速バスの利便性向上・利用促進のために、市が行うべき施策で好ましいものを問う設問では、「無料駐車場の拡大」と回答した割合が56.3%と最も高く、次いで「市民への周知」(54.0%)、東名秦野バスストップ周辺環境の整備」(51.3%)となっている。

□ Q10. 今後、高速バスの利便性向上・利用促進のために、市が行うべき施策で好ましいものは、次のうちどれですか。[MA]

n=400



性別では、「市民への周知」で、女性(60.1%)が男性(50.2%)より高い。

年代別では、傾向は見られない。

		今後、高速バスの利便性向上・利用促進のために、市が行うべき施策(MA)						
		全体 (実数)	無料駐車場の 拡大	市民への周 知	東名秦野バ スストップの 周辺環境の 整備	高速バス路 線の拡充	その他	無回答
		(%)						
全体		400	56.3	54.0	51.3	38.5	6.0	0.0
性別	男性	247	55.9	50.2	49.4	36.8	7.7	0.0
	女性	153	56.9	60.1	54.2	41.2	3.3	0.0
年代	20代	29	27.6	58.6	37.9	34.5	3.4	0.0
	30代	98	56.1	57.1	50.0	44.9	4.1	0.0
	40代	114	60.5	54.4	47.4	37.7	4.4	0.0
	50代	82	62.2	52.4	56.1	40.2	8.5	0.0
	60代以上	77	54.5	49.4	58.4	31.2	9.1	0.0
	男性計	247	55.9	50.2	49.4	36.8	7.7	0.0
性別 × 年代	20代	9	22.2	55.6	55.6	66.7	0.0	0.0
	30代	55	54.5	58.2	40.0	38.2	7.3	0.0
	40代	63	60.3	44.4	41.3	34.9	6.3	0.0
	50代	55	60.0	47.3	54.5	41.8	7.3	0.0
	60代以上	65	53.8	50.8	60.0	29.2	10.8	0.0
	女性計	153	56.9	60.1	54.2	41.2	3.3	0.0
	20代	20	30.0	60.0	30.0	20.0	5.0	0.0
	30代	43	58.1	55.8	62.8	53.5	0.0	0.0
	40代	51	60.8	66.7	54.9	41.2	2.0	0.0
	50代	27	66.7	63.0	59.3	37.0	11.1	0.0
60代以上	12	58.3	41.7	50.0	41.7	0.0	0.0	